

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立鶴見南小

学校

児童数

72

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.10	16.90	29.86	32.79	43.53	9.53	147.25	17.19	47.04
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	13.62	18.18	36.70	31.82	34.29	10.04	139.76	11.17	49.71
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子：体力合計点について、全国平均を5.98下回った。全ての種目について、全国・大阪市平均を下回っている。特に、敏捷性については、全国・大阪市平均を大きく下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、肯定的な回答が96.8%で全国平均より3.4ポイント高い結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は10.7%で、全国平均より0.9ポイント高い結果となった。

女子：体力合計点について、全国平均を4.26下回った。跳躍能力について、大阪市平均を上回ったが、それ以外の種目については全国・大阪市平均を下回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、肯定的な回答が82.9%で全国平均より2.9ポイント低い結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は20.6%で、全国平均より3.3ポイント高い結果となった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

全体として、運動やスポーツをする時間が短い傾向にあり、体力・運動能力が低い傾向にある。しかし「体育の授業は楽しいですか」の質問では、男子の肯定的な回答は100%であり、女子は91.2%で全国平均より3.1ポイント高い。運動が得意でない児童にとっても、取り組みやすく、楽しめる授業になっていることが分かる。

今年度も意欲の喚起と運動の場の充実のために、持久走や縄跳びを集中的に行う期間を設け、児童の体力向上を図ってきた。また、学年をまたいで体育科の単元計画を系統的に作成し、体育学習で実践してきた。さらに、キャッチボールゾーンに加えて、シュートゾーンも新たに設置し、体を動かす機会をさらに増やせるよう環境を整えた。これらの取り組みの効果は見てとれるものの、まだ調査の数値として表れていない。

今後も、教科担任制における体育科での体力・運動能力向上に向けた指導において継続的に取り組みを進める。また、課外の時間も含めた運動機会を保障し、運動への意欲喚起を学校行事などで積極的に働きかけ、児童の自主的な運動がなされるよう指導をしていく。